

外務省 文部科学省 共催

大学とODA

—援助の担い手の拡大に向けた新たなフロンティア—

「豊橋技術科学大学における 産学官連携のための国際協力」

国立大学法人 豊橋技術科学大学
工学教育国際協力研究センター（ICCEED）

センター長／教授

穂積 直裕

2012年7月24日（火） 外務省新庁舎 7 階講堂

豊橋技術科学大学（1976年10月1日開学）

【基本理念】

- 新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究
- 豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的創造的かつ指導的技術者を育成するとともに、次の時代を拓く先端的技術の研究

【特色】

- 大学院に重点を置いた教育体系
- 新しい構想による大学院博士後期課程
- 高等専門学校との連携
- 多様な学生の受入れ
- 正課としての実務訓練
- **らせん型教育**
- **活発な国際交流**
- **多様な産学官連携と地域社会との協力**
- **先端研究最前線**



らせん型教育～Towards Future Technology～

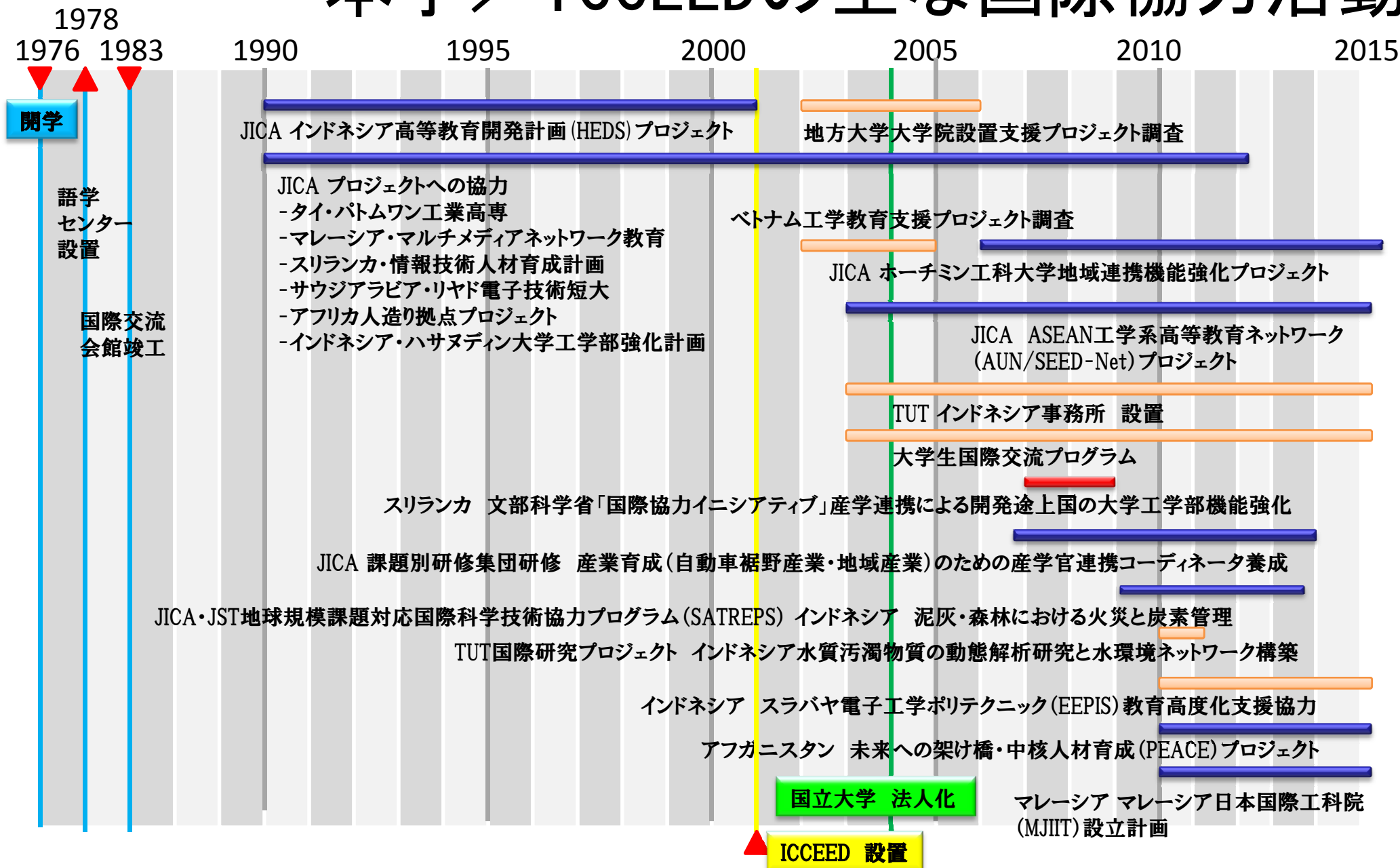


工学教育国際協力研究センター

(International Cooperation Center for Engineering Education Development: ICCEED)

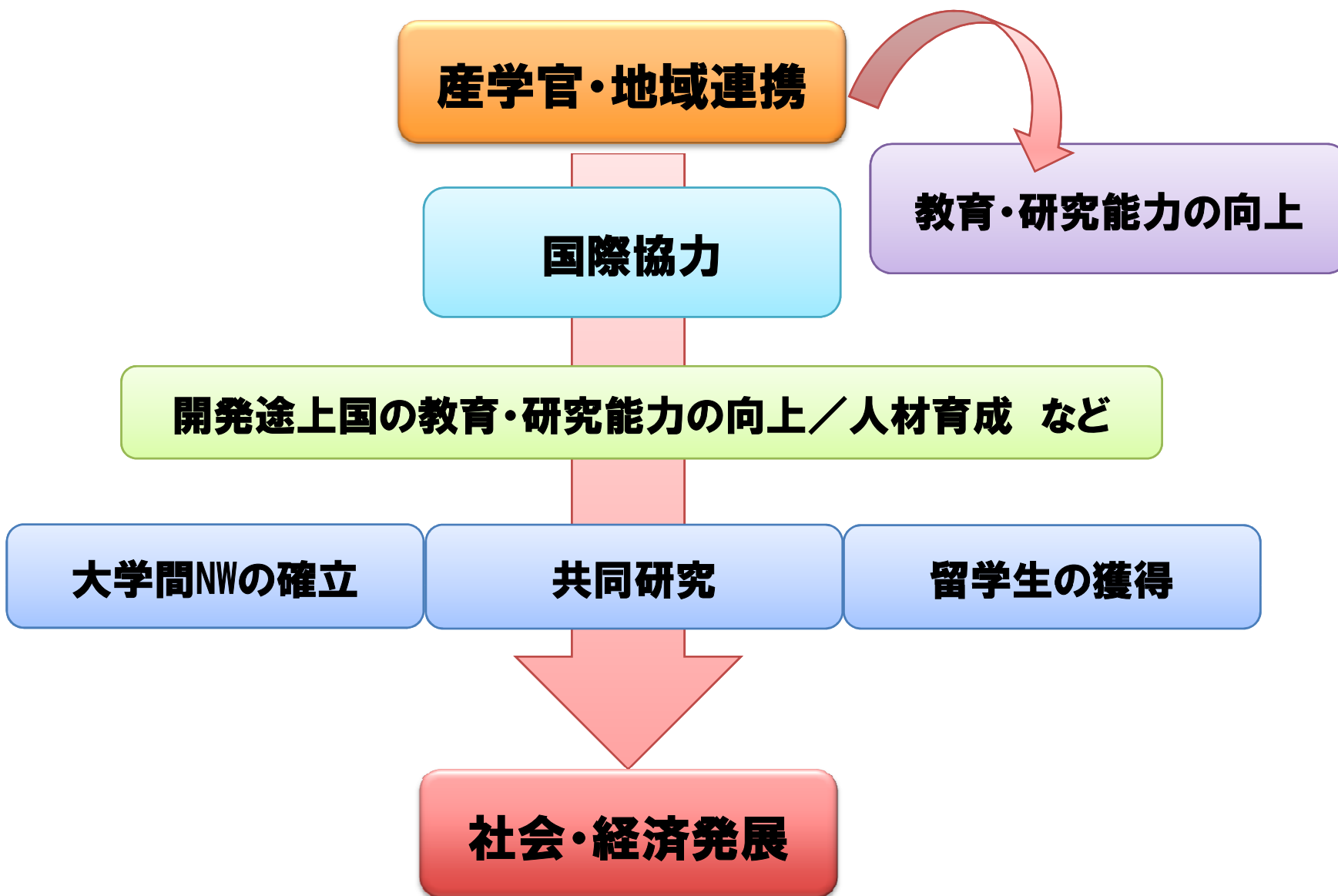
- ・ 2001年4月設置（文部省令に基づき）
 - 工学分野における開発途上国に対する国際教育協力を推進するための研究拠点
 - ・ 国際教育協力プロジェクトの形成、運営、評価等に関する研究及び開発
 - インドネシア、スリランカ、ベトナム、 AUN/SEED-Net等
 - ・ 国際教育協力人材の育成
 - オープンフォーラム、ICCEEDセミナー（人材育成支援セミナー）、大学生国際交流プログラム、国際協力・交流セミナー等

本学／ICCEEDの主な国際協力活動



産学官連携のための国際協力

産学官・地域連携における国際協力の概念図



産学官連携のための国際協力

開発途上国における 産学官連携の開発ニーズ	開発ニーズに対して 求められる活動	本学／ICCEEDの主な活動
◆ 産学官連携体制の機能強化 及び人材育成	➤ 体制の整備及び機能強化 ➤ 人材育成 など	① JICA HCMUT地域連携機能強化 プロジェクト ② 文科省「開発途上国における大学工学部の機能強化」 ③ JICA産学官連携コーディネータ養成
◆ 産学官連携の経験の不足	➤ 産学官連携のノウハウの蓄積 ➤ 産学官連携に対する意欲向上 など	② 文科省「開発途上国における大学工学部の機能強化」 ③ JICA産学官連携コーディネータ養成
◆ 産業界の研究開発費拠出意欲の低さ及び企業体力の脆弱性	➤ 研究開発費拠出意欲の向上 など	② 文科省「開発途上国における大学工学部の機能強化」
◆ 研究能力の向上	➤ 人材育成 ➤ 知識・技術移転 など	① JICA HCMUT地域連携機能強化プロジェクト ④ AUN/SEED-Netプロジェクト
◆ 研究施設の不足	➤ 研究施設の設置 ➤ 予算措置の必要性 など	② 文科省「開発途上国における大学工学部の機能強化」
◆ 教材の不足	➤ 教育・研究能力の向上 など	① JICA HCMUT地域連携機能強化プロジェクト

産学官連携のための国際協力

①JICAホーチミン工科大学地域連携機能強化プロジェクト（ベトナム）

・ フェーズ1： 2005年～2008年度

- 地域連携活動の経験と知識（ノウハウ）の検証と制度化
- 地域連携事業による地域連携能力の向上
- 研究・開発能力の拡充
- 研究促進能力の拡充
- 地方ニーズに対応した研究・技術開発
- 日本の知識・技術移転

・ フェーズ2： 2008～2012年度

- 座学中心の工学教育から、研究中心の教育への移行
- 工学教育における実践対応力の向上
- 地域の高等教育や研究機関などによる研究開発体制の強化（学術協力）
- 地域連携による教育・研究能力の向上
- 地域連携促進人材の育成
- ホーチミン工科大学の南部地域における地域連携促進の拠点としての機能確立

産学官連携のための国際協力

②文部科学省「国際協カイニシアティブ」

「産学連携による開発途上国の大学工学部の機能強化」 (2007~2009年度)

- スリランカ、モロッア大学工学部の機能強化
 - ・ 事前調査による現状把握
 - ・ 産学連携にかかる関係者の理解や認識向上（現地・本邦研修等）
 - ・ 大学内組織としての産学官連携組織の整備及び体制の強化
 - ・ 産学連携にかかる人材データベースの整備
 - ・ 知的財産取扱い規則の整備
 - ・ 自立発展的な産学官連携体制のための研究資金循環システムの構築 など

③JICA産学官連携コーディネータ養成研修 (2007～2012年度)

A) 産学官連携基礎講座

- a. 産学連携と地域連携支援機関の役割
- b. 産学連携と大学・企業・社会
- c. 地域連携支援演習

B) 産学官連携と技術経営基礎講座

- a. 技術開発における技術経営と産学連携の重要性
- b. 技術経営の事例学習

C) 知的財産基礎講座

- a. 知的財産政策と経済成長
- b. 企業及び大学における知的財産管理
- c. 知的財産政策と産学連携
- d. 知的財産政策と地方自治体
- e. 知的財産政策と知的財産教育

D) 企業ニーズ・大学シーズマッチング講座と実習

- a. モデル企業を用いた企業ニーズ分析及び事例研究
- b. 実際の企業での企業ニーズ調査実習
- c. モデル企業のニーズと大学シーズのマッチング
- d. 実際の企業へのニーズ回答案提示実習



産学官連携のための国際協力

③JICA産学官連携コーディネータ養成研修 (2007～2012年度)

- 研修員帰国後の活動
 - ・ 研修成果の報告会・セミナーの開催
 - ・ 帰国後6カ月の研修成果を活用した産学官連携活動の プログレス・レポートの提出
- 帰国後の具体的な活動
 - ・ JICA現地事務所との協力体制の確立準備（アルジェリア）
 - ・ 同省庁の他部署間の連携を促進（ケニア）
 - ・ 産学連携組織の立ち上げ（インド、フィリピン、ブラジル）
 - ・ 企業との共同研究などによる産学連携の促進（インド、エジプト、スリランカ、ブラジル）
 - ・ 産学連携人材育成システムの立案（ブラジル）
 - ・ 産学連携にかかる人材データベースの整備（中国、ベトナム）
 - ・ 知的財産にかかる活動の促進（インドネシア、スリランカ、タイ、フィジー）

④ アセアン工学系高等教育ネットワーク (AUN/SEED-Net) プロジェクト

- フェーズⅠ： 2002~2007年度／フェーズⅡ： 2007~2012年度
 - ・ ASEAN 10カ国、19大学のメンバー大学
 - ASEAN域内の工学分野の人材育成、研究能力向上、学術交流を強化
 - 》域内、大学院修士・博士課程の国際プログラムを擁するConsortium of Graduate Schools of Engineeringの確立
 - 》域内若手教員の育成（修士約320名、博士130名）
 - 》工学系学術ネットワークを形成（教員の域内留学、共同研究、セミナー等の開催）



2013年4月からのフェーズⅢへの協力

- ❖ 工学分野の研究能力向上への協力
- ❖ 域内メンバー大学の人材育成への協力 など



ご清聴誠にありがとうございました。

